



藤田 昭 議員

公民館の現状と課題について

問

本来の要求課題の学習提供場所として機能していないことから、今後の公民館活動をどう進めるか

答

「仮称たかしま市民大学」の開校に併せ、公民館講座や教室の運営体制全体を再構築してまいります。

問 公民館活動とひとづくりについてどのように考えるか。

答 教育総務部長

教室や講座については、参加者のニーズから趣味や教養の向上にかかるものが多いのが現状です。地域の課題や現在の課題の解決を目指し、運営体制全体を再構築してまいりたいと考えます。



問

公民館本来の要求課題の学習提供場所として機能していないのではないかと。こうした現状やたかしま市民大学も含めてこれからの公民館活動を進めるのか。

答

教育総務部長 今後の公民館活動は「仮称たかしま市民大学」の開校に併せて、公民館の講座や教室の運営体制を再構築していきたいと考えています。

問 公民館の職員配置について

答 教育総務部長

社会教育課長が公民館長を兼務し、社会教育課の中に各公民館を担当する職員を置くなど、社会教育課と公民館

が連携を図りながら進めています。さらに教育や行政で長年の勤務経験を持った人材を参与として配置しております。

問 文部科学省が平成15年6月に告示しております公民館の設置および運営に関する基準、第8条では公民館に館長を置くこととなっているが、このことについてどのように考えるか。

答 教育総務部長

公民館には館長を置くことになっております。



問 公民館の現場に館長を置くということではないのか。

文部科学省の告示と整合が取れないのではないかと。

答 教育総務部長

社会教育課長が公民館長を兼務しており、市は社会教育課と公民館が連携して進めていきたいと考えております。

問 地域学校協働活動は、公民館がパイプ役となって学習支援を行っていくべきで、公民館を中心に考えるべきではないか。

答 教育長

地域学校協働活動推進員を中心に地域の方々を学校とつなぐという形で、学校に拠点を置き、学校の教育活動を支援していますので、公民館を中心に地域学校協働活動を構成していません。

その他の質問

○都市基盤整備と上安曇地区経営体育成基盤整備について